

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【公開番号】特開2004-151062(P2004-151062A)
【公開日】平成16年5月27日(2004.5.27)
【年通号数】公開・登録公報2004-020
【出願番号】特願2002-319619(P2002-319619)
【国際特許分類第7版】

G 0 1 R 31/02

G 0 1 M 3/16

【F I】

G 0 1 R 31/02

G 0 1 M 3/16 H

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月31日(2004.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも3本のセンサ接続線を有するセンサを、共通の入力端子に並列接続して利用するようにした複数センサの状態検出装置において、

当該センサ状態検出装置に接続すべきセンサの個数を設定する手段と、

前記センサ側に配設され当該センサの接続個数を計数可能とするための単位個数計数化手段と、

前記センサ状態検出装置側に配設され、所定の個数のセンサが正常に接続されているか否か判定する接続状態判定手段とを具えたことを特徴とする複数センサの状態検出装置。

【請求項2】

前記センサが、漏液センサである請求項1に記載の複数センサの状態検出装置。

【請求項3】

前記センサ側に配設され当該センサの接続個数を計数可能とするための単位個数計数化手段が、固定抵抗で構成されている請求項1又は2に記載の複数センサの状態検出装置。

【請求項4】

前記接続状態判定手段が、ブリッジ回路で構成されている請求項1乃至3のいずれか1項に記載の複数センサの状態検出装置。

【請求項5】

少なくとも3本のセンサ接続線を有するセンサを、共通の入力端子に並列接続して利用するようにした複数センサの状態検出方法であって、

所定の状態検出装置に、接続すべきセンサ個数を設定する工程と、

前記センサ側に、当該センサの接続個数を計数可能とするための単位個数計数化手段を配設する工程と、

前記センサ状態検出装置側で、所定の個数のセンサが正常に接続されているか否か判定するセンサ接続状態判定工程とを含むことを特徴とする複数センサの状態検出方法。

【請求項6】

前記センサが、漏液センサである請求項5に記載の複数センサの状態検出方法。

【請求項7】

前記センサ側に配設され当該センサの接続個数を計数可能とするための単位個数計数化手段が、固定抵抗で構成されている請求項 5 又は 6 に記載の複数センサの状態検出方法。

【請求項 8】

前記接続状態判定手段が、ブリッジ回路で構成されている請求項 5 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の複数センサの状態検出方法。